

行政評価シート(事後評価)

コード (50) 6-2-6	事務事業名 高齢者手技治療割引券支給事業	所管部課 福祉部高齢者支援課(旧保健福祉部高齢者支援課)
-------------------	-------------------------	---------------------------------

事務事業の概要	事務事業の目的		根拠法令等
	はり・きゅう・あん摩マッサージ等の施術費の一部を助成することで、高齢者の機能促進と健康の増進を図る。		<input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input checked="" type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等 / 補助の概要: 補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等		
	65歳以上の方に対し、市の指定した治療院で使える1,000円の割引券を年24枚(月2枚)支給する。高齢者支援課窓口、または出張所にて申請し、その場で支給。		
事業開始時期	13 年度	実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ( )

事業費データ	項目	単位	16年度	17年度	18年度	19年度
	事業費(A)		28,660	26,253	23,124	22,431
	財源: 国庫支出金・都支出金	千円				
	内: 地方債					
	内: その他 ( )					
	財源: 一般財源		28,660	26,253	23,124	22,431
	所要人員(B)	人	0.25	0.25	0.25	0.25
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	2,082	2,046	2,040	2,040
	臨時職員等賃金(C')	千円	0	0	0	0
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	30,742	28,300	25,164	24,471	
単位当たりコスト (E)=(D)/( 交付者数 )	千円	12.7	12.2	12.0	#DIV/0!	

評価指標の設定	活動等指標		単位	16年度	17年度	18年度	19年度
	交付者数	実績値	人	2,424	2,313	2,098	
		実績値					
	(指標の説明・数値変化の理由 など)						
	成果指標		単位	16年度	17年度	18年度	19年度
	一 使用件数	目標値					
実績値		件	21,744	19,891	20,771		
二 高齢者の機能促進及び健康増進を図る。	目標値						
	実績値						
(指標の説明・数値変化の理由 など) 平成18年8月から割引額が1,300円から1,000円に変更になったため金額が減ったと思われる。							

事業環境等	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	手技治療券の申請に窓口に見えた際、毎年支給を受けている方々から、「この券でずいぶん助かっている」とか「マッサージを始めて体が楽になった」といった言葉をいただくことがある。	
	都内26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	<input checked="" type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下	他市の状況を見ると、契約治療院ではなく福祉センター等で事業を実施している市もある。対象者要件を比較すると年齢以外に障害者手帳を持っているなどの要件が加わる市が多くあり、広く市民にサービスを提供するという点から判断すると本市のサービス水準は比較的高いと思われる。
	代替・類似サービスの有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

コード (50) 6-2-6	事務事業名 高齢者手技治療割引券支給事業	所管部課 福祉部高齢者支援課(旧保健福祉部高齢者支援課)
-------------------	-------------------------	---------------------------------

### 【一次評価】

検証項目	ランク		一次評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
事業の優先度(緊急性)	2		<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	第二次行財政改革大綱(地域経営戦略プラン)に基づく事務事業の見直しにより、平成18年以降は割引額を1,300円から1,000円へ縮小している。見直しに対する市民や施術所からの意見等を伺いながら経過をみる必要がある。
事業の必要性	2			
事業主体の妥当性	3			
直接のサービスの相手方	1			
事業内容等の適切さ	2			
受益者負担の適切さ	2			
市民ニーズの把握	2			

### 【二次評価】

検証項目	ランク		二次評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
事業の優先度(緊急性)	1		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	平成18年に事業の見直しとして割引額の減額を行ったが、本市のサービス水準は、依然として他市に比べて高い。高齢者の機能促進と健康増進については、いろいろな施策が講じられており、この事業については所得制限を設けるなど適応要件・利用者負担等の見直しが必要である。交付者数が減少していることもあり、適切な時期を区切って廃止も視野に入れて検討すべきである。
事業の必要性	1			
事業主体の妥当性	1			
直接のサービスの相手方	1			
事業内容等の適切さ	1			
受益者負担の適切さ	2			
市民ニーズの把握	1			

### 【行革本部評価】

行革本部評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	平成18年度に割引額の引き下げを行い所定の見直しを行っている。今後は、交付者数や利用実績などサービス利用状況について経過を見る必要があるが、所得制限導入など対象者の適用要件については、引き続き検討されたい。